

名所動画発信



カイセイさん

カイセイさんのSNSが注目を浴びるきっかけとなったのは昨年1月。動画投稿アプリ「TikTok（ティックトック）」に、桜島を水たまりに反射させた動画を上げると、830万回再生

「いいね（高評価）」は57万件にのぼった。「行ってみよう」「撮影方法がすごい」など多くの反響が寄せられた。

大学1年時のニューヨーク旅行で地元愛を語る現地の人々と接し、生まれ育った薩摩川内市など鹿児島県の魅力を発信したいと思うようになった。昨春の緊急事態宣言以降、地元の寺山牧場や



(カイセイさん提供)

霧島市の大池などの観光地の投稿を本格化。「コロナが落ち着いたら、鹿児島に来てもらいたい」との思いを込めた。

動画は観光地にいる気分を味わってもらおうと、地上や上空のさまざまな角度から撮った映像を組み合わせた。現地の



雰囲気合った音楽や到着するまでの動画も盛り込み、臨場感と旅人目線にこだわった。昨年11月にはフクロワからリクエストで、廃校となった布計小学校（伊佐市）を撮影した。動画を見て学校を訪れたという30代夫婦からは「懐かしくて涙が出た」とメッセージをもらった。

フクロワ数は伸び続け、インスタグラムは6・6万人、ティックトックは30・6万人に達した。一般的にSNSはフォロー数1万人以上だと社会的に影響があるとされ、南山大学（名古屋）の川北真紀子教授（マーケティング）は「かなりの発信力」と評価する。カイセイさんは「人と

大波小波
サイモ役立てて



ほしいと寄贈を決めた。役場で贈呈式があった。役場で贈呈式があった。役場で贈呈式があった。

49期生の井手雅子さん「写真中央は「少しでも在校生の役に立てばうれし」。西橋瑞穂校長は「学校では個別指導などで生徒と向かい合う場面が多いので、大変ありがたい」と感謝した。

在校生のために
鹿児島市の甲南高校の同窓会は1日、同校に新型コロナウイルス対策として、卓上アクリル板24枚とスタンド式パーテーション3台を寄贈した。

うぶ声 掲載希望の親の名前、住所、電話番号を明記。出生届出済証明または受理証明書（いずれも鹿児島市印付き）

のコピー添付。誕生日から1カ月以内。ファクス＝099（813）5017。郵送＝〒890－8603、南日本新聞読者センターあて。

ひろば・論点(5)



解説・評論(6)



文化(7)



広告(8)



くらし(9)

灰急阪神東宝グループ

ルート3

コース番号 49721-264

阪急交通社

ナビゲーター

次へ

+

-

49 期実行委員会甲南高校へパーテーション贈呈

(2021 年 3 月 1 日－南日本新聞掲載 3 月 8 日)

在校生のために

鹿児島市の甲南高校の同窓会は1日、同校に新型コロナウイルス対策として、卓上アクリル板24枚とスタンド式パーテーション3台を寄贈した。

昨年幹事を務めた49



期生(1998年卒)

が、コロナ禍で中止となった同窓会関連イベントに代わる取り組みとして企画。新聞広告を出すために募った協賛金の一部を活用した。アクリル板は60センチ、横90センチのパーテーションは講演会などで使う予定。

49期生の井手雅子さん(写真中央)は「少しでも在校生の役に立てばうれしい」。西橋瑞穂校長は「学校では個別指導などで生徒と向かい合う場面が多いので、大変ありがたい」と感謝した。

大波小波